

ろくのへ 議会だより

第80号

平成26年4月18日発行

●編集/発行●
青森県六戸町議会

生涯健康で生き生きと暮らせるよう、
福祉の充実に取り組む



六戸町地域包括支援センター開所式 4月1日

初の議会報告会開催 町民約70名が参加 ... 2P

3月議会定例会 「一般会計 50億円でスタート!」 ... 3P

予算特別委員会 「平成26年度 予算を徹底審査」 ... 4P

一般質問 4名の議員が町政を問う ... 8P

人事案件 教育委員会 町民の声 ほか ... 12P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp

初の議会報告会開催

町民約70名が参加



2月14日、町文化ホールにおいて、町民を対象に初の議会報告会を開催しました。

町議会議員12名と町民約70名が議会改革の取組み（平成24年12月から一般質問での一問一答方式導入、議場傍聴席の改修など）や各常任委員会などの活動を説明し、町民と意見交換しました。

意見交換内容（抜粋）

町民 一般質問では、視点がわかるような質問をしてほしい。

議長 一問一答方式になり、だいぶ変わってきていると思うが、再度検討して、質問者と答弁者に促したい。

町民 町に政策提案をできないか。

議長 予算特別委員会等で質疑をしているが、提案までには至っていない。

町民 サンデー議会、ナイター議会をやってほしい。

町民委員 休日・夜間の議会とも詰めなければならぬ部分もある。持ち帰り、検討する。

町民 小規模のほうが話しやすいので、各地区で開催してほしい。

町民委員 今回は報告会という形で開催したが、議会改革検討委員会では、懇談会的なものを開催してはどうかという意見もあるので、委員会で検討する。

町民 介護保険とTPPに反対の意見書を関係機関へ提出したというが、その論点は。

町民委員 農家と同じ考えで、TPPになれば農業も大変なことになるという認識を持っているので反対をした。介護保険も値上げとなれば住民は大変だという思いで反対した。

アンケート結果（抜粋）

○アンケートの回収数
54人（回収率77%）

○性別
男性 38人
女性 16人

○年代
30歳代 2人・40歳代 4人
50歳代 11人・60歳代 23人
70歳以上 14人

○議会報告会を知った情報源
回覧・チラシ 12人
町広報 16人
議会広報 15人
議員の紹介 23人
知人の紹介 7人
その他 1人

○議会報告会運営評価
評価する 35人
どちらともいえない 14人
評価しない 1人

総額

平成26年度予算 一般会計3億5,200万円増

50億円でスタート!

町の財政状況は、加速する少子高齢化を背景として、社会保障関連経費の増大など厳しい状況下であり、財政の健全化を進めつつ、町民の皆様の幸せの実現に資する施策を推進していくという、バランスのとれた町政運営が求められています。

こうした中、六戸町が持続可能なまちとして発展していくためには、若い世代にずっと住み続けてもらうことが重要です。



六戸町長 吉田 豊

町政運営方針

さらには、町民の力をまちづくりにかかし、地域の活力を高めていくため、引き続き町内会活動等への支援を進めていくとともに、それぞれの地域にあった豊かなコミュニティづくりを進めていきます。

また、町民バスの路線拡充を進め、町民の移動手段の確保を図るため、青い森鉄道「三沢駅」への乗り入れを実施するほか、新築した地域包括支援センターを本格運営し、誰もが生涯健康で生き生きと暮らせるよう、福祉施策の充実に取り組んでいきます。

そのためには、医療費助成制度をはじめとした子育て支援事業や定住化促進事業を継続し、若い世代に魅力あるまちづくりを進める必要があります。

平成26年第1回定例会は、平成26年3月7日から14日までの8日間の会期で開催しました。

町長から提出された案件は、協議議案1件、条例議案10件、予算議案15件、人事案件1件の計27議案、審査の結果すべて原案のとおり可決・同意しました。

また、議員提出議案2件が提出され、原案のとおり可決されました。

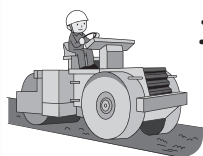
新年度予算は、予算特別委員会を設置し、一般会計・特別会計を審査、本会議にて報告し全て可決されました。

一般質問には4名の議員が登壇し、理事者側の所信をたきました。

こんなふうに使われる町の予算

<一般会計の中身>

%は構成比 ()内は前年比較



土木費 11.0%
5億4873万円
(-9725万円)



民生費 33.0%
16億5144万円
(+2億5045万円)



教育費 8.6%
4億2985万円
(+3712万円)



総務費 15.8%
7億8980万円
(+6495万円)



衛生費 7.2%
3億5906万円
(+3066万円)



公債費 10.7%
(借金返済)
5億3400万円
(-97万円)



農林水産費 5.5%
2億7506万円
(+2912万円)



議会費ほか 2.7%
1億3865万円
(-493万円)



消防費 5.5%
2億7341万円
(+4284万円)

*詳しくは広報ろくのへ4月号2、3ページをご覧ください。

26年度予算を徹底審査



3月定例会に提案された平成26年度各会計予算は、本会議において設置された「予算特別委員会」（委員長 円子徳通議員）に付託し、3月12日・13日の2日間の日程で審査されました。

審査の結果、各会計予算は委員全員の賛成により了承され、円子委員長が本会議で審査結果を報告し、原案のとおり可決されました。



円子委員長

【平成26年度 各会計予算額】

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年対比	
一般会計	50億0,000万円	46億4,800万円	+3億5,200万円	+7.6%
国民健康保険事業特別会計	13億4,756万円	12億9,946万円	+4,810万円	+3.7%
国民健康保険病院事業特別会計	6億6,618万円	5億9,166万円	+7,452万円	+12.6%
下水道事業特別会計	3億0,037万円	2億9,518万円	+519万円	+1.8%
農業集落排水事業特別会計	1億3,002万円	1億2,961万円	+41万円	+0.3%
介護保険事業特別会計	13億0,531万円	12億5,470万円	+5,061万円	+4.0%
後期高齢者医療特別会計	1億1,262万円	1億0,197万円	+1,065万円	+10.4%
霊園事業特別会計	959万円	991万円	-32万円	-3.2%
合計	88億7,165万円	83億3,049万円	+5億4,116万円	+6.5%

審議内容

一般会計 歳入

問 下田敏美 委員
固定資産税の宅地の部分で小松ヶ丘の実勢価格と評価額の差がある。住民への説明は

答 円子税務課長
小松ヶ丘の住宅業者等による宅地の取引価格は、専門鑑定士によると、小松ヶ丘の住宅地としての環境を考えた場合に、一坪4〜5千円の価格は適正であるとは言いがたいというのが鑑定士の判断です。

問 川村重光 委員
メイプルふれあいセンター使用料の45万3千円はどこから入るものか。
また、消費税が上がリ維持費がかかってくると思うが、テナント料金は適正か

答 山本産業課長
(株)産直ろくのへの郷から研修室等の使用料として入るものです。
(株)産直ろくのへの郷に、町が運営委託して道の駅としてあります。
そのほかに町が光熱水費等を負担していますが、電気・

ガス・水道については、使用した分、負担していただいています。

問 苦米地繁雄 委員
町民バス使用料300万円は、中学生の料金に含まれているのか

答 下田総務課長
中学生の料金も含まれます。

問 苦米地繁雄 委員
含めて計上する理由は

答 吉田町長
中学生は通常乗車する人という捉え方です。料金は一般の半額の50円になります。

問 山本実 委員
大曲小学校に設置されている太陽光発電発電量2万円は、何キロの発電量で、年間の発電の合計は何キロになっているか。
現在、キロ当たり売電価格は37円〜38円といわれている

答 棟方企画財政課長
発電量10キロのパネルの収入です。現在の売電価格と違いキロ2円数十銭、3円弱の金額です。すでに十数年使っています。

問 山本実 委員
現在の売電価格が適用にならないか。変更できないか

答 棟方企画財政課長

当時の契約はそのまま継続されています。現在の太陽光の価格は、24年度、25年度の新規の場合の単価となります。

問 河野豊 委員

売電契約を新しい契約に切り替えるべきではないか

答 棟方企画財政課長

太陽光パネル発電装置一式設置した際に、補助金をいただいております、その関係で切り替えることができないことになっております。



大曲小学校太陽光パネル

一般会計 歳出

町民バス車庫建設

問 山本実 委員

町民バス車庫建設工事費は、1億円は、どのぐらいの規模なのか。

また、備品購入費に小型バスは1042万円とあるが、小型バスはいくらなのか。青い森鉄道に乗り入れるためのバスなのか

答 下田総務課長

町民バス車庫の規模は、鉄骨造りの平屋建て、470平方メートルで、町民バス10台が収納できます。そこには、運転手控室とトイレを備えたものになり、トイレは野球場を使用される方も使用できるように兼ねたものです。

マイクロバスは定員が30人以下のもので、備え付けの洗濯機などを含めた金額になっています。

また、現在バス8台を所有していますが、青い森鉄道への乗り入れにどのバスを回すかはこれから検討します。

問 附田輝雄 委員

町民バス車庫建設工事は、470平方メートルと大規模になるが、その周辺の環境整備は

問 杉山茂夫 委員

六戸町の区長は、町内会の世帯に対して、町の行政連絡をすることに限定した仕事と理解しているのか

答 下田総務課長

町内会区長、それから行政連絡員としてお願いしていますが、通常の文書は町内会加入者の方に配付していただいています。文書の内容によっては、加入者以外の方にもお知らせしなくてはならないので、その時は特別にお願いしている場合もあります。

子ども・児童

問 河野豊 委員

六戸児童館大規模改修工事は、児童を一時退避して行うのか、そのやり方は

答 川村(政)福祉課長

児童館を開設した状況の中で、安全に配慮した上で、子ども達を部屋移動させながら、工事を行う予定です。

問 河野豊 委員

一室ずつ工事をするのに対しての割り増しがあるのか

答 保土澤副町長

一室ずつ工事することは、作業効率が悪い。それに対しての割り増しということですが、

が、積算の中に割り増しされているのか、あるいは諸経費の中で考慮すべきものなのか、発注までに検討したい。

問 苫米地繁雄 委員

保育所等の整備事業1億75万2000円は、保育所新設と思うが、事業者が決まっているのか、場所はどこか

答 川村(政)福祉課長

六戸町から町外の保育園に通園されている方は約90名で、そのうち小松ヶ丘地区は約60名います。場所は、小松ヶ丘地区に1か所整備予定です。2業者の申し込みがあり、選考会を開催して、県へ1業者を推薦します。



町立六戸児童館

監視カメラ

問 河野豊 委員

監視カメラ設置工事とあるが、どういう目的でどこに設置するのか

答 川村(政)福祉課長

一か所は、小松ヶ丘出張所で、職員1名の勤務は、何らかの危険が想定されるためです。

もう一つが、児童館の出入り口で、不審者の侵入を防ぐなど、安全対策を考えて2カ所設置予定です。

問 高坂茂 委員

不法投棄監視カメラは、どこに設置するのか。何台なのか

答 今出川町民課長

場所は、不法投棄の多い所に設置し、使い回して1台購入したいと思います。

単価は、安く非常に性能が良い物が出回っていますので十分かと思えます。

農業振興

問 久田伸一 委員

青年就農給付金の予算を5名分計上しているが、申請予定があるのか。

また、申し込みが増えたら補正で対応するのか

答 山本産業課長

5名はほぼ申請があるという見込みで計上しています。また、予算については、必要に応じて補正対応します。

問 川村重光 委員

町農業振興地域整備計画策定業務のスケジュールや内容は、また、いつ結果がでるか

答 山本産業課長

農業振興地域の整備計画の見直しは、現在の農振地域中の農用地区域の地番、面積をきちんと精査します。その上で図面におとし、データ化します。

合わせて農業の近代化施設とか、基盤整備の状況、そういった将来計画も合わせて盛り込みます。そういった作業を業者に委託し、年内中に仕上げたい。

問 川村重光 委員

今後、農地が増えることはない、また、農地除外が多くなると思いますが、どう見るか

答 山本産業課長

農振地域の除外は平成9年以来的の見直しになりますので、相当数の農地区域、除外面積も増える可能性は高いです。県・国は農地区域を減らさないことが基本です。除外は、国の規制が厳しく、農用地区域の確保が大前提となっています。県側との調整になります。

消防

問 下田敏美 委員

消防ポンプ自動車製造請負工事3863万円は、第6分団(七百)か

答 下田総務課長

第6分団の消防ポンプ車の更新と第6分団屯所の改修工事の予定です。

ふれあい昭陽館



ふれあい昭陽館

問 母良田昭 委員

ふれあい昭陽館は、将来、使われなくなるということで、町としてどう考えているか

答 川村(星)教育課長

昭陽館の建物は相当古く、消防法において指摘されています。

現在、2団体が利用している。理解を得ながら、26年度の早いうちに閉館し、建物は当分の間、壊さないで水道等の維持管理費を停止したいと考えています。

無形文化財

問 苦米地繁雄 委員

無形文化財保存会(鷄舞、駒舞、大黒舞、獅子舞、南部手踊り)の補助金は、1団体4万円ぐらいで、それだけでは活動ができなく、各老人ホームなどを慰問したり何らかの維持費をいただいているのですが、余りに少なすぎる。町の無形文化財として指定して、保存、承継していくのであれば、もう少し考えたほうがいいのでは

答 櫻田教育長

これらの団体はメイプルタウンフェスタや老人保健施設町民運動会、生涯学習フェスタなどいろんな町の行事に参加していただいております。本当に感謝しています。

この金額は団体と相談しながら、どういう方法がいいのか、詰めながら来年度に向けて準備をはじめます。



消防団第六分団屯所(七百)

特別会計

国保事業

問 高坂茂 委員
財政調整交付金3500万円減額の理由は

答 今出川町民課長
平成25年度の当初予算において過大な積算をしたため、26年度の当初予算は、25年度決算見込み額により予算計上しています。

国保病院事業

問 下田敏美 委員
患者に信頼される病院経営をしてほしい

答 吉田町長
健康管理という意味での身近な自分たちの病院ということで来て、健康チェックをしてほしいと思っています。

問 保土沢病院事務長
病院内で話をし、看護師も外来にみえられた町民の方には必ず声を掛けるようにという話をしています。



町立病院受付

問 高坂茂 委員
入院収益が25年度と比べ増えているのはなぜか

答 保土沢病院事務長
平均的な単価金額で計算したものです。

問 吉田町長
病院会計は、企業会計的な意味合いでやっている分野がある。実際、前年の状況から割り出し、実質に合ったかたちで予算書を作っています。

介護保険事業

問 高坂茂 委員
介護予防サービス計画作成費が減額になっている理由は

答 川村(政)福祉課長
25年度の実績見込みで10件減っているためです。

問 高坂茂 委員
一般会計から2億1900万円繰り入れているが、どのように考えるか

答 吉田町長
町でも対応するという環境をしっかりと整え頑張っていないかなければならないと思っています。ですので、介護保険料を上げるといふことではなく、町自体も急激な変化に関して対応する心構えでいます。

問 高坂茂 委員
国の報道によれば要支援は各自治体の運営になると聞いています。サービスの低下がないようにお願いしたい

答 吉田町長
社会の変化に対応するためには、財政的基盤を今以上にしっかりと持たなければなりません。26年度は介護保険料が見直しになりますが、上がった際にはご理解いただきたい。

霊園事業

問 河野豊 委員
霊園が出来てから5年になる。毎年繰入金があるが、このままの状態していくのか、何らかの方向転換、方針転換をするのか

答 吉田町長
今しばらく状況を見定めて、それぞれの意見等を集約を図り、今後、町営墓地に関して検討したい。



六戸霊園



委員会の様子

除雪

大雪に対する抜本的対策が必要

町長 — 委託路線の見直し等を検討する



かわの 河野 豊 議員

一般質問

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することをいいます。その内容を要約してお知らせします。



町長 除雪体制は、町内の除雪作業可能な重機合計24台で16.6kmを除雪し、通勤通学に支障がないよう朝7時までに終わるよう指示している。今後は、委託路線の見直し、雪の状況に応じた対策を検討する。

問 2月は2度にわたる大雪になり、町民から電話が殺到したと聞いている。抜本的な対策が必要。町長の考えは

町長 担当職員がパトロールし、降雪の状況に応じて除雪体制を整えている。一般的に積

問 除雪作業は雪の量や質に応じた除雪作業マニュアルはあるか

町長 除雪は、通勤通学に使用する主要幹線から始め、終了後に住宅の枝線を除雪します。住宅建設による除雪路線の増加に対応するため、除雪出勤時間の調整や委託業者の作業応援などを検討している。

問 町の定住促進事業が功を奏し、小松ヶ丘団地には多くの住宅が建設されている。それに伴い、除雪範囲も年々広くなっている。今後の対応は

町長 高齢者の一人暮らし世帯への除雪は、社会福祉協議会が中・高校生を募り、ボランティア活動で作業をおこなっている。しかし、要望にすべて対応できていないのが現状です。町内会等の協力を、関係機関の連携を密にしていきたいと考えている。

問 町内には、高齢者宅など除雪難民が多く存在している。今後、ますます増加すると予想されるが、今後の対策は

雪10cm以上になるとパトロールを行い、地域や吹き溜まりなどの状況を確認し、除雪に対応している。



小松ヶ丘住宅街

問 青森県で最も人口が増えている六戸町ですが、一方で学校問題がある。小学校が近くにあれば、さらに人口増加に拍車がかかるのは明らかだと思う。町長の考えは

町長 町の定住促進施策等の結果として、小松ヶ丘地区は人口増加の傾向にあり、若い世帯の移住により幼児数は、毎年4〜5名増えている。今後、大幅な人口増加となれば、当然小松ヶ丘地区に新規の学校を建設を検討しなければならぬが、現状の増加であれば、財政上のこともあるので、現在の学校において最善・最良の方法を検討していきたい。

町長 — 大幅な人口増になれば、学校建設を検討する

小松ヶ丘地域の小学校建設を

学校建設



円子 徳通 議員

農業問題

新たなコメ対策への対応

町長 — 情報把握に努め、説明会を開催し、周知徹底する

問 新たな米政策（4つの改革）への対応と課題は

町長 現在、国及び県の動向を見極めながら、情報把握に努め、営農講座などの研修会や各種農業団体への説明会などを開催し、周知徹底しています。

実施する段階において不透明な部分があるので、今後とも情報収集に努め、また、周知を行い、関係機関・団体への協力・働きかけを行い、対応したい。

問 実施された場合、どのように推移すると考えるか

町長 米の直接支払交付金が半分の7500円になりさらに5年後に廃止となると、当町では約6千万円の減収見込みとなり、農家の影響がないとは言えない。水田経営からの撤退、リタイヤする農家が増えると推測され、担い手への

の集積がますます続くのではないかと思う。

問 4つの改革の日の本型直接支払制度の農地・水保全管理支払制度への六戸町の対応は

町長 農家代表者等への事業の説明、研修会の場を設けるなど周知を図り、要望等を取りまとめた上で、人的な課題もあるので、土地改良区等関係機関と協議、協力を仰ぎながら出来る範囲で対応したい。

問 豪雪対策としての消費材助成の対応を考えてはどうか

町長 補助の時期や交付要件など検討課題も多く、さらに消費作業をしている農家の状況に個人差があり、公平性や助成による事業効果の検証を含め、関係機関・関係団体の意見を聞きながら、協議の場を設けるなど検討したい。

教育

26年度の教育方針は

教育長 —

「個を生かし生き抜く力と夢を育む学校教育」
 「一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育」
 「活力と感動を生みだす文化活動と社会体育の振興」と定めました

問 教育改革の問題となるのは、教育現場の顔が見えないということだと思つう。

教育委員会では、その権限に属する事務の処理執行状況について、点検、評価を行って、報告書をまとめて公表している。情報公開が求められると感じている中で、教育長の考えは

教育長 教育行政、現場を町民の方々に公開することは原則になっています。一として、六戸町教育委員会の事務の点検及び

評価に関する報告書として、町のホームページに掲載しています。

二として、教育委員会の会議は公開とされており、町民の方にも周知するために、何らかの方法を講じなければと思いません。

三として、議事録も閲覧できることになっています。

四として、学校教育の方針の中に学校教育活動の公開をうたっています。これは、日ごろ地域住民から学校活動にボランティアなどでお手伝い頂いている方、議員にも学

校活動の案内をしていますが、これも、学校教育活動の公開の一環です。



小学校の様子



こうさか 高坂 しいげる 茂 議員

教育委員会の役割は

教育長 — 学校教育、社会教育、社会体育の三本柱が基本

問 教育委員会における教育長と、教育委員長の立ち位置は

教育長 教育委員会は、5名の委員で構成され、教育委員長は教育委員会の会議を主催し、これを代表する。教育長は委員の中から選ばれ、権限の全ての事務をつかさどることになっている。

問 命は教育委員会の使

教育長 町民一人ひとりが健康で、豊かな生活を送れることを目的とし、六戸町の教育方針を定め、施策を推進します。

問 いじめ等重大な事件が発生した場合、調査組織のメンバーに弁護士等の専門家を加

えるとなっているが、当町での現況は

教育長 いろいろ手続きもあり、現時点では組織は立ちあげていません。

学校教育

問 小学6年生と中学3年生に実施されている文科省の全国学力テストの結果の公表は

教育長 このテストは、平成19年度から始まっており、結果公表については平成25年度から市町村の教育委員会の判断に任せるとなっている。

当町の教育委員会では、学校の序列化につながりかねないとの判断から、公表は控えています。

問 当町の学校におけるテスト結果は、県下あるいは郡内においてどのレベルにあるか

教育長 町民の方には公表していませんが、保護者の方には校長の判断でお知らせできるとしています。

テストの結果、上北郡の学力の高さは評価されており、その中で上位にいます。

問 中学校教育における武道の必修化に伴う学校での実態は

教育長 指導者への研修会の実施、場所や用具等勘案し、柔道、剣道、相撲の中から柔道15時間を実施しています。

問 わが町もこの先、少子化の影響を免れないことが予想されます。少子化における開知大曲学区の見直しは

教育長 小松ヶ丘地区が予想されることから、その推移を的確にとらえ

教室数等を含めて対応したい。

問 青森県の子供（5歳児から18歳）は肥満度が高い傾向にあると、新聞報道で指摘されている。食育と健康に対する意識付け教育が大事と考えるが、学校での食に対する取り組みは

教育長 各校では、生クや生活習慣アンケートや生活量調査等を実施し、栄養教諭によるおやつ、食の食べ方等、食に対する意識の向上を図り、日常生活での改善に取り組んでいます。

問 子供たちが少なくなってきた。このため学校単位では人数が足りなくて、やりたい種目が出来なくなっている現状がある。これを解消するために総合型スポーツクラブの創設を

教育長 現在、指導者の登録制度は実施していませんが、スポーツ少年団などと連携し指導者の確保や育成及び把握に努めています。今後、スポーツ関係団体の育成と組織体制の強化に努めたい。

スポーツ指導者対策

問 町内在住のスポーツ種目の資格認定、あるいは審判の資格を持つている方の情報を一元化して、スポーツ少年団等の競技力向上に役立てるためには、指導者の登録制度の創設を願いたい

教育長 町全体を一つとした場合、小学生単位の指導確立や初心者から上級者までの地域住民が集い、スポーツを楽しむ社会を構築することを目指します。今後、スポーツの多様化や児童数の減少から、学区にとられない取り組みが求められると予想されますので、体育協会等と連携を図り対応していきます。



やまもと 山本 みのる 実 議員

一問一答方式

行政一般

平成26年度の重点事業は何か 農業に対する重点事業はあるか

問

平成26年度の重点事業は

町長

第4次総合振興計画に沿った優先順位を考慮して予算編成し、介護保険事業や後期高齢者医療を初めとした社会保障関係経費など町が負担すべき財源は優先して計上しました。

- ◎重点事業としては、
- ◎子供医療の無料継続と病院窓口の無料化を実施します。
- ◎地域包括支援センターの本格運営を行い介護事業全般の拡充を図ります。
- ◎小松ヶ丘地区の汚水処理施設機能診断と、処理場の実設計並びに下水道整備区域外の合併浄化槽に対する補助を引き続き行います。
- ◎県営事業である集落基

盤整備事業の町負担金の措置と、農業振興地域整備計画の見直し並びに農業振興対策経費を計上し農業の振興を図ります。

- ◎農産物の振興を支援するため、「ろくのへブランド推進事業」に補助します。
- ◎七百中学校講堂改築実施設計を行います。
- ◎学校教育活動支援員を増員し、教育活動の更なる推進を図ります。
- ◎若者定住支援事業及び定住促進新築住宅補助事業を2ヶ年延長します。
- ◎道路整備継続事業の早期完成を目指します。
- ◎町民バス車庫新築事業と各公共施設の機能維持並びに向上を措置します。

スクールバス事業

中学生の登下校時の バス料金を無料にしては

教育長—中学生は基本的に徒歩または自転車通学のため、現行通りとする

問

中学生が登下校に利用するスクールバスのバス料金を無料にする考えは

教育長

スクールバス事業は、小学校区の見直しによるものであり、徒歩での通学が困難になった児童の送迎に使用すると、小学生の料金は無料です。



バス料金箱

中学生は、基本的に徒歩または自転車、バスの利用は任意となります。

一部の生徒に限り、悪天候や冬期間だけ乗車しているのが現状ですので、中学生が利用するバス料金は現行通り（一般の半額50円）とさせていただきます。

問

スクールバスの停留所に、雨風をしのげるバス停を設置する考えは

教育長

スクールバスの停留所は、ほとんどが町民バスと兼用です。また、町民バスの停留所は、土地所有者から土地等の理解と協力を得て、ユニットハウス式



スクールバス

に整備しています。しかし、小松ヶ丘地区は、児童数も多いこともあり一部を民間会社に委託し、町民バスと違うルートで登下校の送迎をしています。その停留所の中で2ヶ所は屋根つきの停留所ではありません。特に3・4・5丁目方面に住宅が増加しているため、小学校に通う子供たちが利用しやすいよう26年度にルート等を見直すことにしています。その際に町民バスと調整を図りながら検討します。



「議会を傍聴して感じたこと」

高橋 久三 (たての台団地)

六戸町議会報告会 (2月14日文化ホール) 及び町議会定例会 (3月11日) を傍聴して感じたこと。

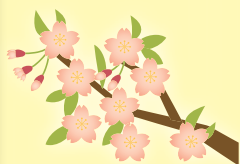
(1) 六戸町議会報告会

議会改革に意欲的に取り組んでいる各議員の活動の様子を知る機会となり、また、傍聴に訪れた方々の質問に答える等、多彩な対応姿勢に触れ、町民の声が議員を通じて町政発展に資するような活躍になればと期待しております。

(2) 議会定例会

町議会を傍聴席から一部だけを覗いた程度ですが、議場の緊張感たどよう真摯な質疑応答に好感を受けました。また、除雪体制、学校教育、農業に関すること等、多くの政策課題を抱える行政について、関心を少し深めることができました。

議会広報委員会では、町民の皆様のまちづくりに対するご意見、ご要望の投稿を募集しています。どしどしお寄せください。お待ちしております。



発行責任者
議長 苫米地 繁雄
議会広報委員 高坂 茂

長々と余談になりましたが、今年も六戸議会だよりのご愛読をお願いします。

孫が小学校に入学しました。孫は目に入れても痛くないといいますが、全くその通りで、毎日、孫中心に生活のリズムが出来上がっております。皆さんの家庭はどうでしょうか、こうしてみると子供の大切さがとても大事なことと思わざるをえません。

今号が発行される頃は、4月も半ばを過ぎ木々も新芽を吹き、桜の開花が待ち遠しい季節となります。顧みますと今冬は、全国的に考えられないほどの大雪(豪雪)に見舞われ多くの被害が出ました。又、17年ぶりに消費税が8%に上がり、景気回復に水を差す結果にならないことを願うばかりです。

編集後記

人事案件

■六戸町教育委員会委員

教育委員会委員 田中誠氏が平成26年3月19日で任期満了のため、吉田尚子氏を選任することに同意しました。

よし だ なお こ
吉田 尚子 氏
(昭和31年生)
六戸町大字折茂字
下夕田16番地9



教育委員は、「人格高潔で、教育、学術、文化に関して識見を有する者」の中から、町長が選任し、議会の同意を得て、任命します。

教育委員会は、学校教育・生涯教育・社会教育、文化・スポーツなどの行政を担当する執行機関です。5人の委員で構成され、任期は4年です。

「町政を知る良い機会!!」



町議会は、町の予算や、身近な問題について話し合う大切な会議の場です。

議会は、年4回の定例会(3、6、9、12月)、臨時会(随時)を開催します。次回定例会は、6月上旬を予定しています。

本会議の傍聴を希望される方は役場4階の傍聴受付簿に、住所、氏名を記入しご入場ください。また、本会議の状況は、役場1階ロビーのテレビでも中継放送しておりますのでそちらもどうぞご覧ください。

▼決算と予算特別委員会が傍聴できます。

- ・決算9月【前年度決算審査】
- ・予算3月【新年度予算審査】

詳しい日程等は、議会事務局までお問い合わせください。町ホームページでもお知らせします。

☎0176-55-4547 (直通)